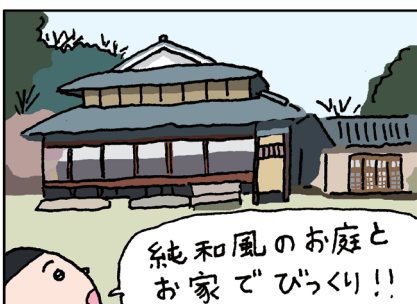


てんさんぽ[◎] その60 糸川 多賀



阪急宝塚線に沿って、清荒神から売布神社を経て中山寺へと「巡礼道」が続いているのですが、売布神社の駅に一番近いところ、菰池という池の隣に「黙想の家」という、キリスト教のカトリック修道会「御受難会」が運営している施設があります。前を通るとキリスト像が「いらっやい」と腕を広げているので、いつも入ってみたいと思っていました。でも隣には「関係者以外立入禁止」の看板もあるので、どうなんだろうと調べてみたら、お庭に関しては受付のチャイムで声をかければ誰でも見学できるそうです（予約したほうが確実です。☎84・3111）。門のキリスト像から邸宅までの距離も結構あってびっくり。その邸宅はお金持ちの方の別宅として建てられた和風の建築なのですが、お庭も自然の造形を生かした日本庭園的なものです。そこにキリストの受難の物語を再現した「十字架の道行き」の祈りの路が作られていて、和洋折衷的な不思議な感じがしました。（紹々）

宝塚市大使 やすみりえの「川柳日和り」

本誌12月号で「広がる」をお題に川柳を募集。応募総数78句の中から川柳作家のやすみりえ先生が選んだ秀作を紹介しします。

天

鼻歌が
みんなにうつる
帰り道

七夕ぜん哉 様

講評

何かうれしいことがあった帰り道なのでしょう。軽やかな気分が広がっていく様子がうまく捉えられています。

地

はいチーズ
笑顔広がる
観光地

杉浦健太郎 様

講評

観光地のにぎわいが見える一句。「笑顔広がる」とした中七音に楽しい雰囲気が溢れています。

人

手を広げ
掴んでみよう
青い鳥

中村優實子 様

講評

いいことがあるように願う気持ちを、素敵な言葉で表現なさっていますね。

佳作

万物に煌き広げ初日の出

由 様

世界地図広げ気ままに一人旅

谷水和海 様

水たまり大海原へ広がるよ

山下幸子 様

人の世の噂広がる速さかな

安井修 様

やすみ先生の一句

青空の広がる場所で書く手紙

清々しい思いを、このような一句にしてみました。皆さんそれぞれの「青空の場所」をイメージしてくださると嬉しいです。



総評

今回は明るくのびのびとしたイメージの句や、夢・希望の広がりを詠まれた句が多く集まりました。もし作句に行き詰まったら、お題の言葉の類語を辞書で引いたり、検索してみることもおすすめです。

お 題 「時間」

募集締切 4月18日(金)まで

対 象 市内在住・在勤・在学の人

応募方法 はがきに、基本事項とお題をもとにした川柳（未発表作品のみ、3句まで）、作品について一言書いて、〒665-8665（住所不要）市役所広報課「川柳」係へ。二次元コードから申し込み可。入賞者にはプレゼントあり

☎ 広報課 ☎ 77・2002 FAX 74・6903

